

お知らせ

「賞・資格に関して」のプリント、記入して懇談にご持参ください

12月6日(水) 「進路用」個人写真を撮影します ご家庭での御指導よろしくお願いします

- 注意点・髪型…清潔に
前髪は眉にかからない 男子横…耳にかからない
男子後…上着の襟にかからない
女子後…肩に付くようであれば黒ゴムで束ねる
- ・制服…清潔に ボタン確認
(首もとからTシャツや肌着が出ないように)
セーター・カーディガンは撮影時脱いで下さい

※撮影例：カラー・上半身の撮影です。第一印象が大切です！(冬用制服にて撮影します)



面接試験の心構えとポイント

11月6日、滋賀短期大学教授沖山圭子先生をお招きして面接についてお話を聞きました。第一印象が大切。日頃から練習しないと、その場限りでは見破られてしまう。元気に、明るく、ハキハキと中学生らしく、など色々なアドバイスを頂きました。

最近の中学生は、スマホなどの影響か猫背気味の人が多いとのこと。背筋を伸ばし、胸を開き、天井から頭のとっぺんに糸を張ったような感じでスマートに立った姿勢を保つよう練習すること。

椅子に座った姿勢も、背もたれにもたれず、女子は膝を開かないよう座る練習もしましょう。15分ぐらいは頑張りましょう。結構足がプルプルします。

人に話を聞いてもらう時は、まず単語で話さない。これも、ラインなどの影響なのか、単語の羅列で話を済ませてしまう人が多いようです。大学生も例えばこんなライン。「ヤバ、リョ」何のことか全くわかりません。お家でも、「母さん、お茶。」意味はわかるでしょうが、日頃から「お母さん、お茶ください。」とか「お茶、とってください。」など気をつけましょう。

また、理由と結論は、まずは結論から伝えること。何を言いたいのか、わかりにくくなります。二つ言いたい時は、まず、二つあることを伝える。一つ目は、〇〇。二つ目は△△。その後理由を述べましょう。出会った方と心が通じ合うように接することも大切。

1.表情 2.態度 3.挨拶 4.身だしなみ 5.言葉遣い

お辞儀の種類は3つ。「会釈」「敬礼」「最敬礼」、それぞれお辞儀の角度が違います。また、どのお辞儀をどの場面で行うか、必要となる場面も違います。適した角度のお辞儀が、適した場面できるよう練習しておきましょう。



お辞儀の種類①：会釈（角度15°）

- ・角度は上体を腰から15度くらい前へ傾ける
- ・視線は3mくらい先に
- ・基本は朝夕の挨拶、通路等での軽いおじぎ、お客様をお迎えするときのお辞儀

お辞儀の種類②：敬礼（角度30°）

- ・角度は背筋を伸ばし腰から30度上体を折り、足下1.5mくらい前方に視線を落とす
- ・目上の人に対して敬意をもって行うお辞儀
- ・会釈よりもやや角度を深くする



お辞儀の種類③：最敬礼（角度45°）

- ・3段階あるお辞儀の仕方のうち最も深いお辞儀。
- ・お詫びをするとき、深い感謝を表すとき、重要なお客さまをお見送りするときなど。角度が最も深く、神前での儀式や高貴な方に対する礼に用いる。
- ・角度は45度が目安とされ、背筋を伸ばして腰から上体を深く折り曲げ、真下よりやや前方に視線を落とすのが基本

練習あるのみ！！！！！！

